



学塾通信 10 月号(第 166 回)

10 月 12(月・祝)は授業実施日です。

10 月 29 日(木)・30 日(金)は授業調整日です。通常授業はありません。

自習の際に生成 AI を使う生徒が増えてきました。生徒たちに使用目的を聞いてみると調べ物をするのに使っているようです。実際にやり取りを見せてもらおうと「白村江の戦いとは何ですか？」という問いに、それに関する説明が詳細に書いてあり、その後に「頑張ってください！！」と AI から絵文字つきで励ましの言葉がありました。相談ごとがあるときにも AI を使う人が多いと聞きます。いつでも肯定的な返事してくれる。それが利用者の多い理由なのでしょう。

先生への質問や辞書で調べるような学習に加えて、知識を補完するためのツールとして AI を使うことは有効であると思います。活用できるものはして、知識の定着を図っていければと思います。

いよいよ秋です。受験生は本格的に進路について考える時期となり、次の受験生（高2・中2・小5）にとっても進路について考え始める季節となりました。

受験においては「人事を尽くして天命を待つ」という気持ちになるまで受験勉強をやり切って試験に臨むことができるかどうか合否の鍵を握ります。

その境地に達することができれば、希望する進路に進む可能性が大きくなるでしょう。

間違えた問題のやり直しをする。覚えるべきことは覚える。そして、自分で解けるように復習をする。言葉にするのは簡単ですが、実際にこれ続けるのは簡単ではありません。

継続するためのポイントは、やる気に左右されない気持ちの持ち方を身につけることです。

毎日自習に来ている受験生を見ていると、自分なりの気持ちの高め方があるように思えます。

受験勉強は、今の自分だけでなく未来の自分の糧になるものです。合格することだけを考えると、合格しやすい学校に切り替えさえすれば、どこかには合格できるでしょう。そこそこの受験勉強しかなかったとしても、どこかに行く学校はあるでしょう。

しかし、それでは受験勉強を通して身につけることができるはずの成果をほとんど得られずに受験生活を終えることになります。

受験勉強を新たな自分に出会うチャンスと考え、思い切って挑戦してください。

やり遂げた後に見える景色は、「生涯の財産」になります。

本気で頑張る経験を重ねるごとに、人としての器が大きくなり、多くの人の幸せに寄与できる大人に成長していきます。嬉しい・悲しい・悔しい・楽しい・辛い、ひとつひとつの経験が心を豊かにします。

多くの人を幸せにできるような大人になってくれることを願っています。



○請求書の発行について

10 月分の請求書は紙とアプリ両方で 9 月末に発行します。

不具合無く円滑に運用できるようであれば翌月以降はアプリのみ、もしくは保護者様の確認状況を鑑みて翌月も紙とアプリを併用します。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X にて配信しています。

○教室への連絡について

遅刻・欠席に関する連絡はアプリから「塾長送信可」宛に送ってください。

「送信不可宛」に送信すると確認が遅くなります。

メールでご連絡をいただいている方はアプリからの連絡に変更をお願いします。

☆小学生☆

「知識を学ぶこと」と「勉強の仕方を学ぶこと」が学塾に自習に来るメリットです。

同じ時間机に向かっても、人によってできることに差があるのは当然のことです。それぞれの処理能力や精神面の違いもあると思いますが、その多くは勉強のやり方の違いです。

今から勉強を頑張ろうと思っている人は、よくできる人たちはどのように勉強をしているのかを学んで、真似することからはじめましょう。

勉強の仕方を学ぶことにおいて、真似をするのは決して悪いことではありません。むしろ大切なことです。

学塾には小学生から高校生までの生徒が在籍しています。高校受験生や大学受験生の勉強する姿を目にするのは小学生にとっては貴重な機会です。

先輩が自習をする様子を観察して、良いところはどんどん吸収していきましょう。

☆中学受験生☆

6 年生は受験校の過去問を解き始めています。

「時間内にできる」「解くべき問題が取捨選択できる」「合格点を超える」。

この三つをこれから目指していきます。

毎週受験校の過去問が 1 年分宿題として出されます。合格点との差を測るために、以下の二つを守ってください。

・時間を計って解く。

・〇つけは講師の先生に任せる。

残り 5 か月ほどで統一日を迎えます。ここから一段ギアを上げて取り組んでいきましょう。

○模試について（小学 6 年生・5 年生）

第 5 回 五ツ木模試 9 月 27 日（日）

☆中学生☆

○中学 1 年生（16 期生）

2 学期の定期テストは心して臨んでください。

この通信でも繰り返しお伝えしていることですが、学年平均が 1 学期期末よりかなり下がります。

（1 学期期末も中間から比べると平均点は下がっています。）

特に頑張りが必要な人は、英単語の暗記が苦手な人や基本的な計算ができない人です。

覚えるのが苦手であれば、時間をかけるしかありません。「書く・聞く・話す」という練習を繰り返しながらできることを増やしてください。各種テストで英語が 80 点未満の人は、日ごろからの取り組みを見直しましょう。

○中学 2 年生（15 期生）

中学 2 年生のみなさんは、あと半年もすれば受験学年になります。

テスト前には勉強をしなければならないという意識はあるように見えますが、それ以外の学習時間が圧倒的に少ないです。

テスト前だけ頑張ったとしても「現状維持」止まりになることが多いです。塾や学校の宿題は取り組むのが当たり前で、さらに一步踏み込んでプラス α の学習ができるかどうかが伸びるポイントになります。できるかできないかよりは、頑張ろうと思えるかどうかという気持ちの問題です。高い意識を持って頑張れる人は良いですが、そうでなければ時間と曜日を決めて、学塾に自主学習に来る日を固定してください。現状維持で満足することなく、ひとつでもできることを増やそうという意識を持って学習に取り組んでください。

○令和 10 年度からの公立高校入試について

現中学 2 年生の受験から制度が変わることはすでにお伝えしています。

概要についても見えてきました。

公立高校受験日は、3 月 1 日が基準日（入試日）となります。

特色枠と第二志望の学校を選択できることが大きな違いになりますが、入試科目は現状と同じ 5 教科になるため、1 年間の学習内容を大きく変える必要はなさそうです。

2027 年 2 月の保護者説明会にて、令和 10 年度からの公立高校入試制度についても説明致します。

○本の紹介

14歳で“おっちゃん”と出会ってから、15年考えつづけてやっと見つけた「働く意味」

認定 NPO 法人 Homedoor (ホームドア) 理事長 川口加奈さんが書いた本です。川口さんの経歴を引用します。

大阪女学院中在学時代の 14 歳でホームレス問題に出会い、ホームレス襲撃事件の解決を目指し、炊き出しやワークショップなどの活動を開始。17 歳で米国ボランティア親善大使に選ばれ、ワシントン D.C.での国際会議に参加する。高校卒業後は大阪市立大学経済学部 (現大阪公立大学) に進学。19 歳のとき、路上から脱出したいと思ったら誰もが脱出できる「選択肢」がある社会を目指して Homedoor を設立し、ホームレスの人の 7 割が得意とする自転車修理技術を活かしたシェアサイクル HUBchari (ハブチャリ) 事業を開始。また 2018 年からは 18 部屋の個室型宿泊施設「アンドセンター」の運営を開始

経歴だけ見ると順風満帆のように思われますが、本を読むとそんなことはまったくなく、川口さんが失敗や挫折をくり返しながらひとつずつ階段を上ってきたことがよくわかります。

理想の姿に向けて挑戦することの大切さを、この本から感じ取ってください。

何かに挑戦するとき、上手くいかないことの方が多く、思ったとおりにはなりません。それでも試行錯誤しながら続けるうちに、経験を積むことができます。この「経験」こそがみなさんの財産です。



☆中学3年生☆ (14期生)

合格率を上げる方法
入学試験の制度を知り
出題される問題、傾向を把握し
入試本番で「解くことができる問題」を確実に解く。

高校の3年間は、人生のなかでも最もバイタリティーにあふれる、成長できる3年間です。楽しく過ごすことはもちろんですが、過去を振り返った時に「これに打ち込んだ3年間だった」と思える何かを見つけて欲しいです。それができる学校を探していきましょう。

私立の学校はそれぞれの学校が大切にしている「建学の精神」や教育方針があります。だからこそ、同じ私立高校でも学校によって3年間の過ごし方が大きく異なります。どんな生徒を育てようとしているのか、どんなことに力を入れているのかを調べてみましょう。

公立の高校は、それぞれの学校が背負っている「伝統」がひとつの特徴でしょう。設備面や特徴的な指導における学校の違いよりも、その学校がどのような歩みをたどって来たのか、その学校を良しとして集う生徒がどのような人たちなのか、どの学校のバトンを受け継ぎたいのかを考えてみてください。

○併願校について

「私立に行くつもりが無いので、私立の受験校はどこでも良いです。」「私立は見に行くつもりもないです。」ということを耳にすることがあります。もちろん第一志望校合格に向けて頑張るつもりなのでしょうが、それは受験生みんな同じです。合格する人もいれば残念な結果になる人もいます。受験結果の良し悪しは、実際のところ長い目で見なければわかりませんが、進学先は合格した学校から選ばなければいけません。ですから、併願校であっても学校説明会には参加してください。

○中 3 塾長講座について

第 6 回 10 月 17 日 (土) 13 : 30~19 : 00

○模擬テストについて

第 5 回 五ツ木模試 10 月 11 日 (日) 必須回です。

今回初めて五ツ木模試を受験する方は、申込用紙の提出とともにマイページの登録をお願いします。その際に必ず塾の登録をお願いします。【学塾 S60600】です。塾の登録が無ければ団体申込みの際に申し込みができません。

☆高校生☆

今年度の大学受験生は、小学生・中学生のころから学塾に通ってくれている 3 名の塾生です。一人ひとりとのこれまでの振り返ると、努力が報われともに喜んだこと、思ったような結果に繋がらず悔しい思いをしたことなど、さまざまなことがありました。そのような経験を重ねて立派に成長してきました。今は、社会人になる前の 4 年間でどのような環境で過ごし、何を学んでいくのかを考えていることでしょう。大学は様々な専門があるため選択も難しいですが、私は「自分の好きなこと、得意なこと」を追求していくのが良いと思っています。その理由は、専門的な技術や経験を重ねて高いスキルを身につけ社会に貢献したいと考えたとき、興味があることや好きなことの方が進んで研鑽できるからです。これまでの学校生活を振り返ると、それぞれに好きなこと得意なことがあったと思います。大学の専門を選択する際に迷いがあるようであれば、一度これまでの学校生活を振り返ってみてはどうでしょうか。頑張ろう大学受験生！！

2026 年度 塾生募集状況

【高校生】募集終了

【高校受験 中 3】募集終了

【高校受験 中 2】募集終了（キャンセル待ち 2 名）

【高校受験 中 1】若干名

【中学受験 小 6】募集終了

【中学受験 小 5】募集終了

【非受験 小学生】募集終了

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com>

【X】 <https://x.com/gakujoyukuhorie>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>